

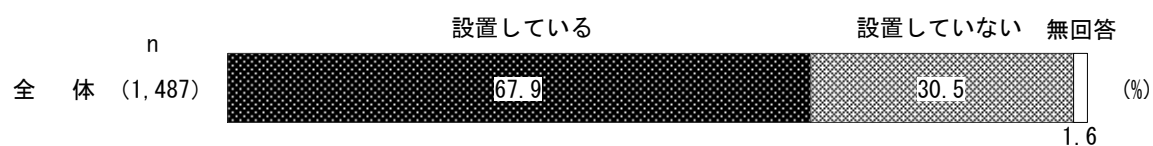
1 住宅用火災警報器の設置状況について

(1) 住宅用火災警報器の設置有無

◇「設置している」が約7割

問1 あなたのお住まいには、住宅用火災警報器が設置されていますか。（○は1つ）

<図表1-1>住宅用火災警報器の設置有無



住宅用火災警報器の設置状況を聞いたところ、「設置している」(67.9%)は約7割。一方、「設置していない」(30.5%)は3割となっている。(図表1-1)

【地域別】

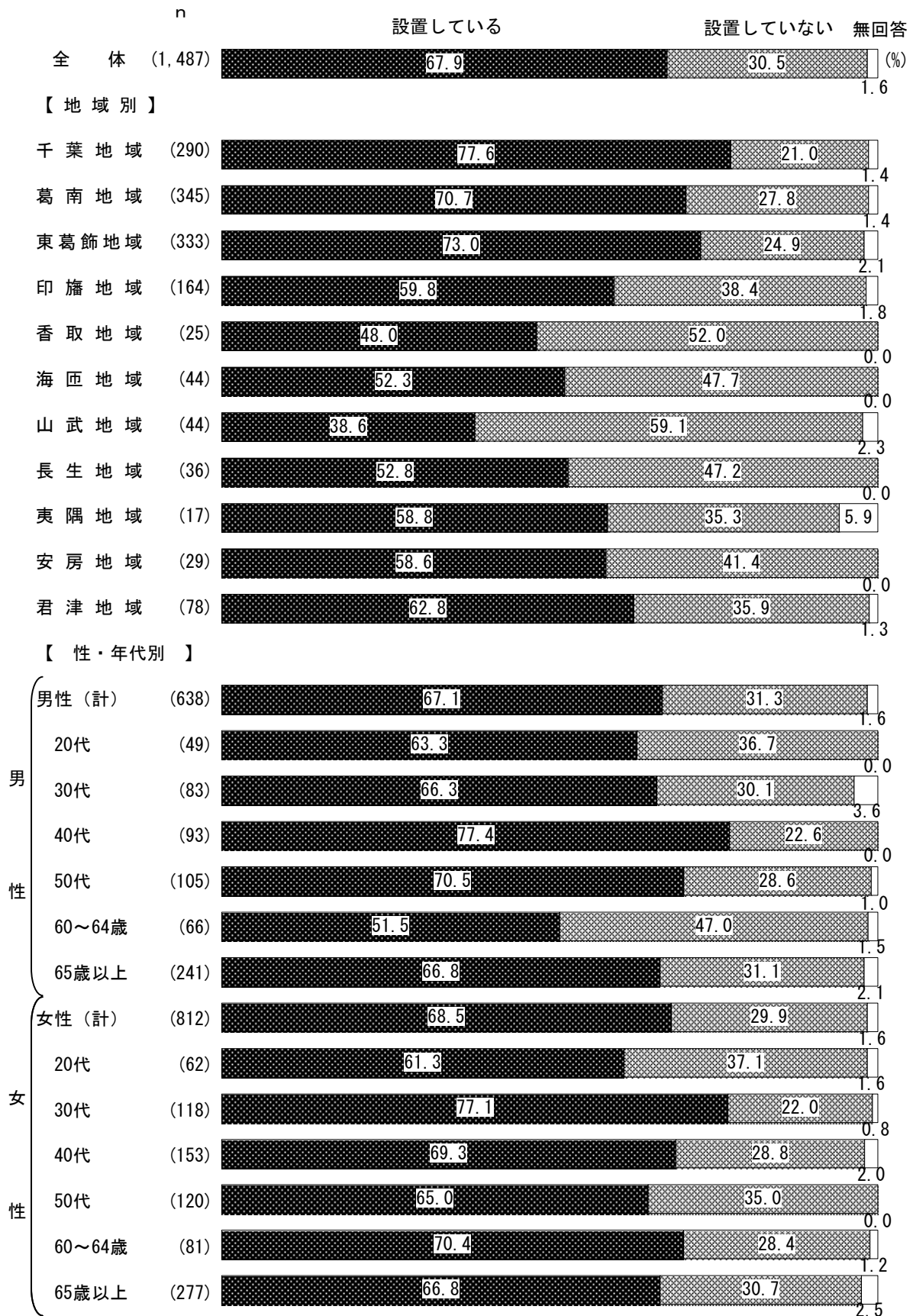
地域別にみると、「設置している」は“千葉地域”(77.6%)が約8割と最も高く、次いで“東葛飾地域”(73.0%)、“葛南地域”(70.7%)が7割以上となっている。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「設置している」は男性の40代(77.4%)と女性の30代(77.1%)が約8割、男性の50代(70.5%)と女性の60~64歳(70.4%)が7割で、他の年代に比べ高くなっている。

(図表1-2)

<図表 1 - 2> 住宅用火災警報器の設置有無／地域別、性・年代別



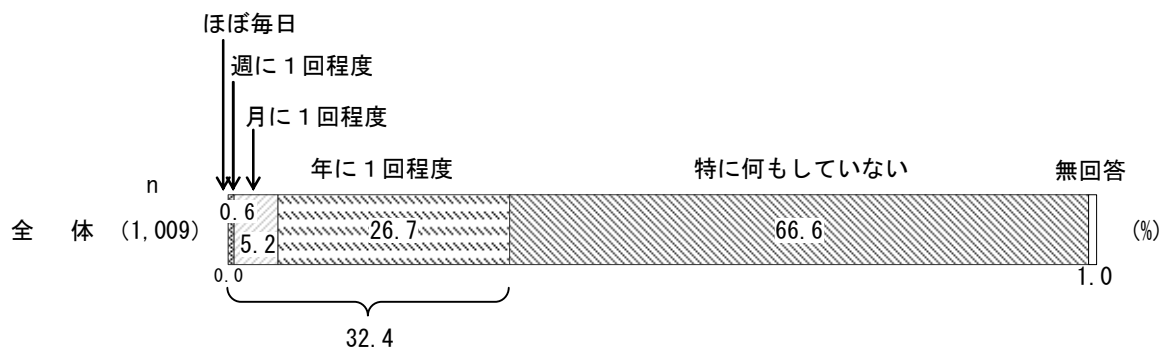
(2) 住宅用火災警報器の作動点検の頻度

◇「年に1回以上」点検が3割を超える

(問1で「設置している」とお答えの方に)

問2 住宅用火災警報器は、ボタンを押したりヒモを引いたりすることで作動点検ができますが、あなたは住宅用火災警報器の作動点検をどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

<図表1-3>住宅用火災警報器の作動点検の頻度



「設置している」と回答した1,009人を対象に、住宅用火災警報器の作動点検の頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」(0.0%)、「週に1回程度」(0.6%)、「月に1回程度」(5.2%)、「年に1回程度」(26.7%)を合わせた『年に1回以上点検している』(32.4%)は、3割を超えている。「特に何もしていない」(66.6%)が6割台半ばとなっている。(図表1-3)

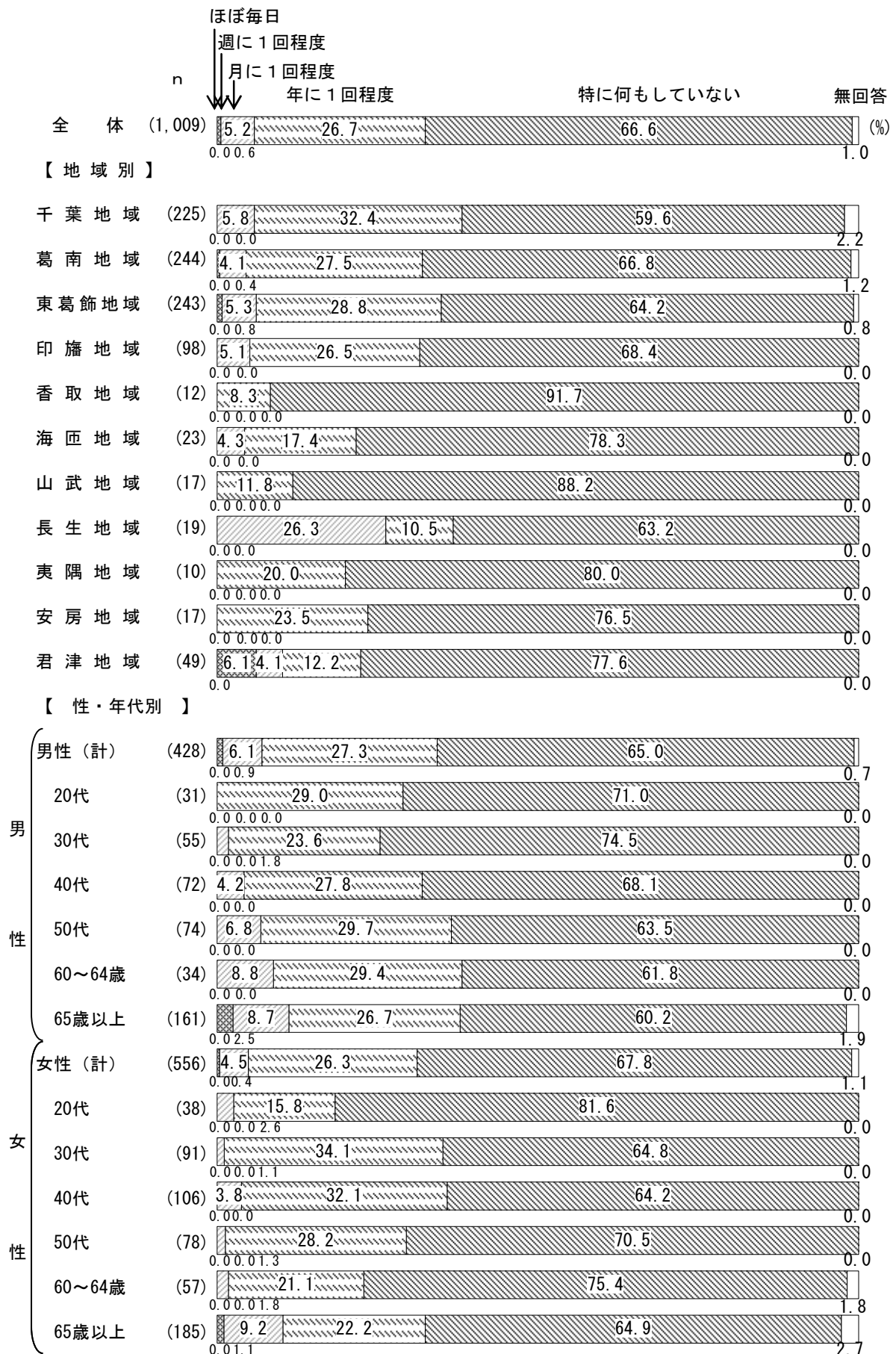
【地域別】

地域別にみると、『年に1回以上点検している』は“千葉地域”(38.2%)が約4割と最も高く、次いで“長生地域”(36.8%)、“東葛飾地域”(35.0%)が3割台半ばとなっている。(図表1-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『年に1回以上点検している』は男性の60～64歳(38.2%)、65歳以上(37.9%)が約4割、男性の50代(36.5%)、女性の40代(35.8%)、30代(35.2%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表1-4)

<図表1-4>住宅用火災警報器の作動点検の頻度/地域別、性・年代別



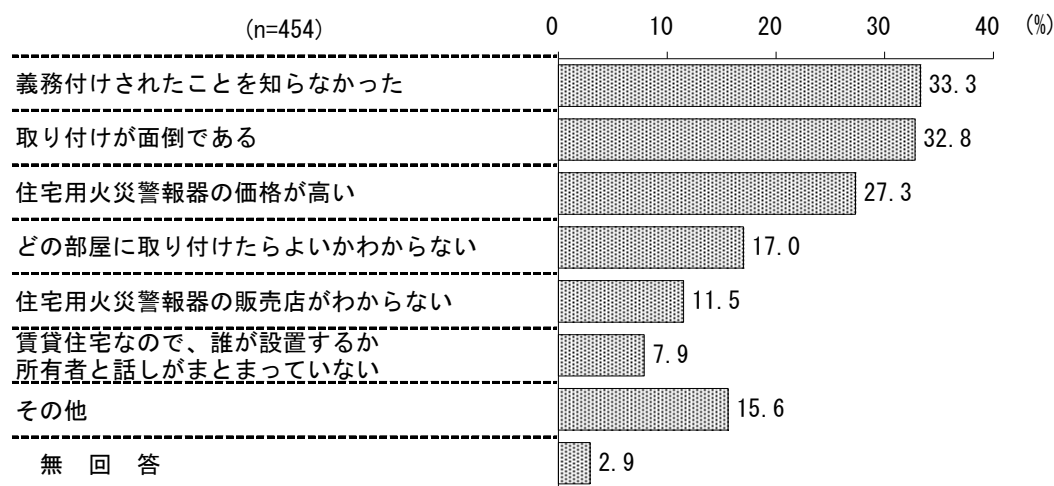
(3) 住宅用火災警報器を設置していない理由

◇「義務付けされたことを知らなかった」「取り付けが面倒である」が3割を超える

(問1で「設置していない」とお答えの方に)

問3 あなたが住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表1-5>設置していない理由(複数回答)



「設置していない」と回答した454人を対象に、設置していない理由を聞いたところ、「義務付けされたことを知らなかった」(33.3%)、「取り付けが面倒である」(32.8%)が3割を超えて最も高く、以下「住宅用火災警報器の価格が高い」(27.3%)、「どの部屋に取り付けたらよいかわからない」(17.0%)、「住宅用火災警報器の販売店がわからない」(11.5%)が続く。(図表1-5)

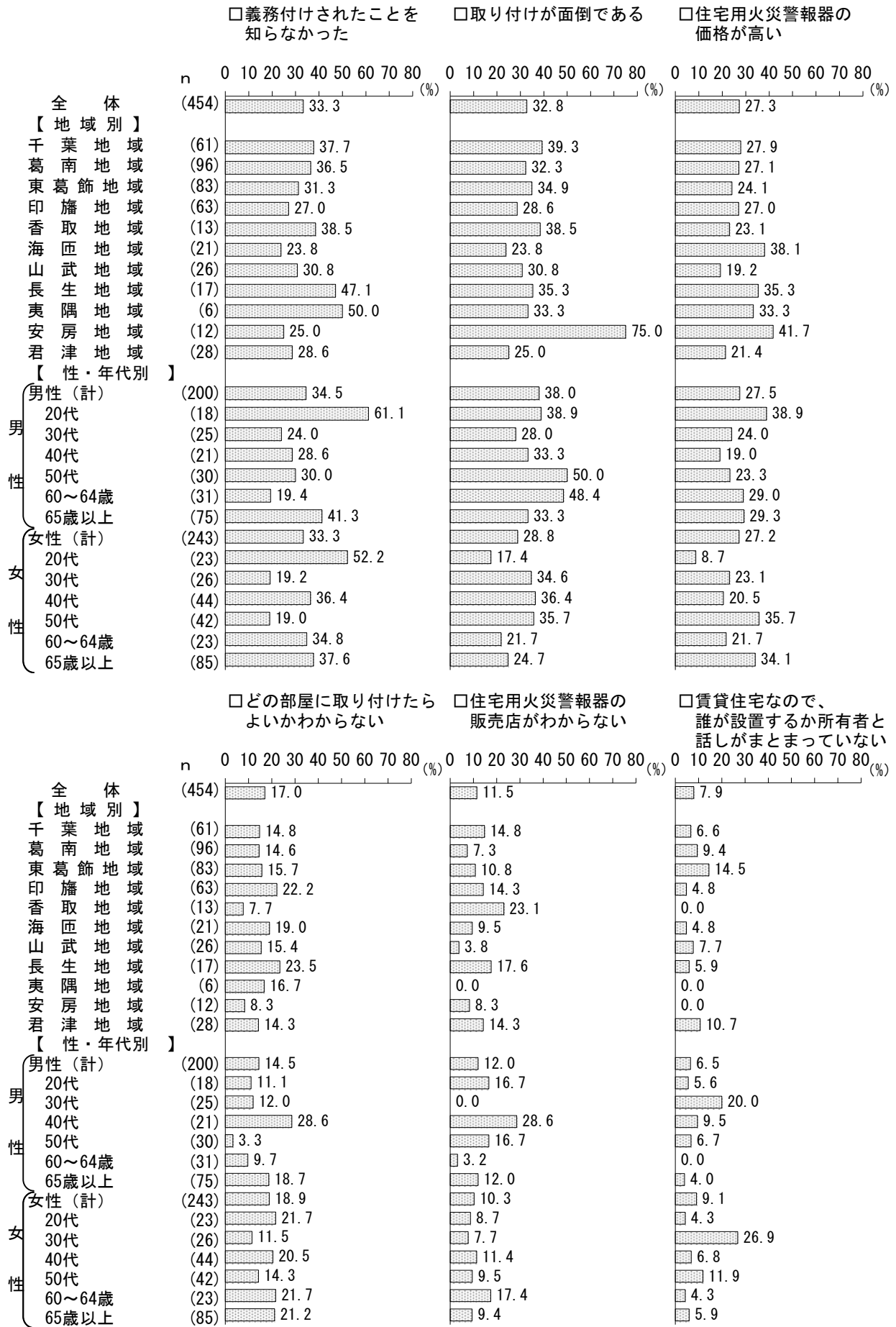
【地域別】

地域別にみると、「義務付けされたことを知らなかった」は“夷隅地域”(50.0%)で5割、“長生地域”(47.1%)で約5割と他の地域に比べ高くなっている。「取り付けが面倒である」では“安房地域”(75.0%)が7割台半ば、「住宅用火災警報器の価格が高い」は“安房地域”(41.7%)が4割を超えて高くなっている。(図表1-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「義務付けされたことを知らなかった」は男性20代(61.1%)が6割を超え、女性20代(52.2%)が5割を超えて他の年代に比べ高くなっている。「取り付けが面倒である」では、男性50代(50.0%)が5割、男性60~64歳(48.4%)が約5割と他の年代に比べ高くなっている。「住宅用火災警報器の価格が高い」は、男性の20代(38.9%)、女性の50代(35.7%)が3割台半ば以上と高くなっている。(図表1-6)

<図表1-6> 設置していない理由/地域別、性・年代別（6項目）



このほかに、「住宅用火災警報器の設置状況について」やここまでの質問（問1～問3）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、205人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「住宅用火災警報器の設置状況について」の自由回答（抜粋）

- 意見や提案ではありませんが、設置していただいた後、安心感があります。
(女性・65歳以上・東葛飾地域)
- 数名の友人に聞いたが、義務化については全く認知されておりません。まずは認知度を高める施策が急務であると感じます。販売店や価格、取り付け場所の共有は次の段階で進めていただければと思います。(男性・20代・印旛地域)
- 法律で設置が義務付けられている割には、消防署の点検等が全くありません。各戸訪問点検をすべきではないでしょうか。(男性・65歳以上・印旛地域)
- 平成19年に建てられた賃貸住宅なので、設置されているかもしれません。でも、特に契約先から点検についての話は一切ありません。それに関する取扱説明書も持っていません。設置義務があるのであれば、賃貸住宅の場合、不動産会社から毎年チェックするようお知らせみたいのがあるといいです。(女性・20代・東葛飾地域)
- 義務化といっても自己管理なので、賃貸ではつけてない人が、結構いると思う。義務というからには、もっときちんと整えてあげるべきだと思う。(女性・30～39歳・葛南地域)
- 老人世帯ですので自分で取り付けはなかなか難しい。(女性・65歳以上・葛南地域)
- 新築ですが点検方法がわかりません。引渡しの時に説明してもらえると良いと、このアンケートで思いました。(女性・40代・葛南地域)
- 住宅用火災報知器の作動点検ですが、まだ点検はしていないがヒモを引いた時に警報器が鳴ってしまい、まわりに迷惑をかけてしまうことはないのでしょうか？(女性・30代・葛南地域)
- キッチン、寝室等あわせると4～5部屋あるので、全てに設置すると費用の点で大変。また、定期的なメンテナンス（電池の交換等）も考えると手間が大変。(女性・30～39歳・君津地域)
- 火災警報器の設置促進策として、非設置の場合、火災保険金の減額ペナルティの制度を設けてはどうかと考えます。設置が普及すれば、被災額が減り、保険料の低減化も期待できる。
(男性・65歳以上・千葉地域)
- 設置義務化が始まった頃は、周知・広報活動が行われていたが、その後は殆ど行われていない。前後の、警報器設置の効果、有効性等を周知する様にしては如何でしょうか！
(男性・65歳以上・千葉地域)